

創立149周年

学校だより



はえ
南風の子

中種子町立
南界小学校

令和4年6月20日

これからの社会と子供たちの未来

校長 安満 浩之

5月24日～26日の2泊3日で油久小さんと合同で修学旅行に行かせてもらいました。知覧の特攻記念会館や指宿の砂蒸し温泉・地熱発電所・動物園・水族館。鹿児島市内の自主研修では、裁判所の見学をするなど楽しく過ごすことができました。まだ、コロナ感染症の流行が収まらない中での旅行でしたので、無事終了できてホッとしています。

さて、この旅行中のことですが、バスガイドさんがたまたま中種子町の方ということもあって、子供たちにこんな質問をされました。「将来、種子島に残って仕事したい人はいますか？」この問いに対して半分くらいの子供たちが手を挙げました。



「修学旅行自主研修（御楼門の見学）」

ところで、AIの発達やグローバル化によりこれからの社会の変化についていろいろな予測がなされています。子供たちの65%は将来、今は存在しない職業に就く（キャシー・デビットソン氏「ニューヨーク市立大学大学院」）との予測や、今後10年～20年程度で半数近くの仕事が自動化される可能性が高い（マイケル・オズボン氏「オックスフォード大学」）などの予測があるそうです。

ちなみに、5・6年生に将来なりたい職業について3つまでの条件でアンケートをとったところ、プログラマー4名、ユーチューバーとペットショップ店員2名の他、大工・漁師・パティシエ・看護師・自衛官・裁判官・人の役にたつ仕事などがありました。

しかし、AIやロボットが進化していく中、「おおきくなったら、〇〇になる」と夢を語っていたのに大人になったとき、その職業は存在しないかもしれないのです。逆に、こんな職業もあったのかと思うかもしれません。

そんな、将来の変化を正確に予測することが難しい時代ですが、現在とこれからの未来に向けて、自らの人生をどのように拓いていくのか。どう生き抜いていくのか準備を着々と進めていってほしいと思っています。そのためには、「自ら学ぶ力と意欲」が大切です。今は、毎日の授業や家庭でしっかり学習をし、確かな学力を身につけたり、体力をつけたり、学校や地域の行事等を通して、いろいろな体験をして自分に自信をつけたりして、今後本当になりたい職業が見つかった時、その力を発揮できるように頑張してほしいと思います。